

(別表第1の4)

事業所名 グループホームしおり

目標達成計画

作成日: 平成 29年 2月 1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	35	年3回の、災害・避難訓練を実施している。避難・誘導等の訓練だけでなく、情報伝達等の訓練もさまざまなケースを想定して、実施していきたい。	想定されるさまざまなケースに対して、訓練を実施していく。 事業所全体で防災意識を高く持ち、有事の際に臨機応変に対応できるようになる。	①年に3回、さまざまなケースを想定した、実践に基づいた災害・避難訓練の計画と実施。 ②情報伝達訓練、連絡体制の再確認・再整備を行う。 ③関係機関・地域との連携。	12 か月	
2	10	行事や受診通院等、ご家族に協力を得ながら実施している。面会や訪問があった際、各居室等でゆっくり過ごして頂けるように心がけている。ご家族と協同しながら、支援・事業所運営をさらに良いものにしていきたい。	ご家族や関係者の方々と、情報交換や意見交換を継続していきながら、利用者さんに関することや、事業所運営に関すること等、幅広く尚且つ気軽に、情報・意見交換できるようになる。	①日頃からホームに足を運んでもらいやすくなるよう、行事等の案内と参加の声掛け。 ②ご家族が中心で集まれるような行事の企画。 ③日頃からのコミュニケーションを図る。	12 か月	
3	6	ベッド柵の設置について、現状では外せないケースがある。常に身体拘束について、職員全員で話し合いながら、利用者さんの現状の理解と、職員の意識の確認をしていき、ケアに繋げていきたい。	身体拘束についての理解と知識を、事業所全体で持ちながら、ケースによって柔軟な対応とケアを行う事ができるようになる。	①モニタリングを行いながら、利用者さんの現状の確認と理解、ベッド柵等物品やハード面の必要性和環境について話し合う。 ②研修会への参加や勉強会などを通して、知識向上を図る。	12 か月	
4					か月	
5					か月	

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。